

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年4月26日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

国家とJRの犯罪行為を許さず 労働者の現状うち破る闘いを！

国鉄闘争全国運動 6・10全国集会への結集を訴えます

自由・生存と人間の尊厳のための労働運動へ

大野義文 (元安芸労働基準監督署長)



社会が壊れている。国から企業まで、理念やモラルを放棄して、無責任極まりない状況だ。「電力の必要性」を強調して大飯原発の再稼働を目論む輩たち。

福島原発事故は、進行形であり、その原因も定かでない中、野田総理などが「安全」を確認したとして、電力不足の危機感を煽り、再稼働は必要だといったような根拠で「安全」としたのか、誰のために電力が必要であるのか、命に代えての「必要性」とは何か。「嘘とゴマカシ」の政府に付き合うのも疲れるが、ほっとけば、殺される。

なにせ、福島原発事故という犯罪行為を犯した東京電力は、ゴルフ場から放射性物質の除染を求められた裁判で「放射線は原発から離れた無主物ともいべき存在であり、もはや東電のものではない。仮に所有権をい

うのであれば、現地の土に付合している以上ゴルフ場のものと言ふべきである」と強盗の論理を厚顔無恥にも言い放ち、「電気料金の値上げは、我々の権利」であるとぬけぬけ言い連ねる輩と一蓮托生の政府である。

毎日、90人弱の人たちを自殺に追い込み、失業者・半失業者は700万人を超え、年収200万円以下の人たちは1700万人、非正規労働者は2千万人に近い。個々バラバラに解体され、競争社会に投げ込

まれている労働者はいまこそ、「能力主義」「自己責任論」の呪縛を解き放とう。

国鉄分割・民営化はなんであつたのか。

当時、首相が「誰一人路頭に迷わさない」と国会で答弁しておきながら、後に「国労をつぶし、総評・社会党を解体することを明確に意識してやった」と明言した。

◎国鉄闘争全国運動6・10全国集会

6月10日(日) 午後1時(12時半開場)

文京シビックホール

(主催) 国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化は、所属組合で採用差別を行うという、明白な国家的不当労働行為であつたのだ。

分割・民営化の過程で、20万人の国鉄労働者が職場を追われ、200人が自殺に追い込まれているのだ。地域生活を破壊し、国家財産を強奪し、労働者とその家族の生存権・労働権を剥奪し、人間の尊厳を壊した人権侵害行為であつたものだ。

国家とJRの犯罪行為を決して許すことなく、現在の労働者の不安定状況を打ち破る闘いにも進みたい。

今こそ、労働者は、団結の中でしか自由と生存、そして、人間の尊厳を勝ち取れないことを再確認し、反原発の人たちとも、つながり、自由・生存と人間の尊厳を勝ち取るための労働運動をあらゆる職場に構築し、国と経済・資本の在り様を変革するため、全国運動に結集しよう！
職場に団結を！ 地域に連帯を！ (全国運動呼びかけ人)



尼崎事故から7年 現地で集会とデモ

4月21日、兵庫県尼崎市・尼崎駅北口広場で動労千葉と国鉄闘争全国運動・関西準備会呼びかけの「尼崎事故7周年弾劾！4・21全国総決起集会」が開催されました。

全国から380名が結集し、尼崎事故7周年を弾劾するとともに、JR西日本の山崎元社長に対する無罪判決に怒りを燃やしました。